



学校だより 10月号

～豊かで調和のとれた子の育成～

【た】くましく生きる人 【な】かよく生きる人

<https://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/tana/>



みのたなくん

分散登校中に着実に進めたGIGAスクール

校長 酒井 浩明

昨日、9月30日をもって再発令されていた緊急事態宣言が解除されることになりました。

横浜市立小学校は、10月4日(月)から通常登校となります。分散登校期間中は、保護者とともに交通安全指導員をはじめとする地域の皆様に、登下校の見守りにご協力いただきありがとうございました。

引き続き、新型コロナウイルス感染症予防の取り組みを徹底にしながらも、市教育委員会が作成した「学校再開スタートプログラム2021」を活用しながら、子どもたちの心の安定を図り、いつもの楽しい教室に戻るようにしていきたいと思っています。

まだまだ、よりよい教育活動と学校行事の実施方法、ICT機器の有効活用を工夫する日々が続きますが、保護者・地域の皆様のご協力をお願いいたします。

さて、本校のGIGAスクール構想の取組ですが、分散登校期間中を利用して、ゆっくりと着実にその歩みを進めてきました。

まず初めに、保護者の方にご協力いただき、ロイロノートスクール（以下ロイロ）を活用した健康観察を実施してきました。

そして、21日からは、分散登校時の家庭学習の課題をロイロで配付し、家庭学習した物をロイロで提出する活動をしてきました。

校内では、5組では、自分の写真を撮って入れた自己紹介カードをつくっていました。

また、1年生は音読を録音し、何回も聞くことで音読の工夫を意識させたり、4年生は算数でノートを撮影して共有し、考えを見比べたりする活動をしていました。

3年生は、理科で子どもが捕ったバッタの写真を撮って共有して観察に使ったり、2年生は図工で友達の作品を撮影し、感想を添えて書く鑑賞活動に利用したりしています。

さらに、5・6年生は授業に使うだけでなく、アプリのClassroomを使い、「オンライン朝の会」を試行しました。

しかしながら、他校が先行して実践を進める中で、課題も浮かび上がってきています。

①登校児童の指導と在宅者のオンライン授業の同時進行は、機材も必要であり、教員一人では、児童とのやり取りや機器の操作にとっても時間がかかり難しいこと。

②オンライン上に集まることで、大人でも問題となっているようなコミュニケーション上の行き違い等が起こること。

③機器の利用をきっかけとする機器依存、液晶画面を長時間見つめることや体を動かす時間が短くなることで、健康上の懸念があること。

学校では、使用するアプリを制限し、指導も行っていきますが、以前に配付した「学校と家庭で育む情報モラル」（学校HPにも掲載）にもあるICT機器を利用する際の家庭内ルールの指導、特に利用状況把握と各家庭での情報モラル教育を実践的に進めていただくことがとても大切です。ご協力をお願いいたします。



＜池の縁に根付いた
ジュズダマ＞

【お知らせ】 給水管改修工事終了！

夏季休業に入ってから行われていた、第一・二校舎の給水管の工事が、9月下旬におおむね終了しました。この工事により、校舎外側に新給水管が設置され、両校舎内の飲用の水道部分が、横浜市の上水道と直結したものになりました。トイレの洗浄関係の水回り部分は、従来通り、屋上のタンクに一時的に貯めたものを使っています。